



子どもたちの豊かな学びを創るには

第1回教育フォーラムが開かれました

10月1日、東京都教育庁生涯学習スポーツ部が主催する平成15年度「第1回教育フォーラム」が目黒の東京都教職員研修センターで開催されました。

小・中学校で「総合的な学習の時間」が開始されて1年が経過しました。地域と連携した取組が進められる一方、連携の進め方を模索している学校もあります。このフォーラムは、「総合的な学習の時間」の実践事例等をもとに、学校が地域、NPO、企業等の力を活用して子どもたちの豊かな学びを創るための方策について考えるために学校関係者や学校支援に関係している方を対象に開かれました。

シンポジウム「子どもたちの豊かな学びを創るために」

シンポジスト	深澤孝二さん（葛飾区立立石中学校長） 稲田百合さん（小平市立小平第六小学校長） 生重幸恵さん（NPO法人スクール・アドバイス・ネットワーク理事長）
司 会	相川良子さん（渋谷区青少年体験活動支援センター事務局）

シンポジウムでは、今実際に行われている学校支援の事例を紹介しながら、「時代や社会状況が大きく変化している中で学校が学校の外に支援を求める分野が増えてきている」、「地域と学校との間で様々な協働の営みが出来ていく中で、子どもを地域で育む環境がつけられていく」、「地域との連携の必要性がわかっていても、学校は何を地域に求めていけばいいのか手探りをしている状況がある」などといった発言がありました。その上で、学校の先生が充実した授業をしたい、という気持ちを大切にしながら、学校の実情にあったプログラム作りをコーディネートする役割の必要性が語られました。



分科会「地域と学校をつなぐヒント」

シンポジウムに続いて3つの会場で分科会が行われました。第1分科会では、地域との連携が不可欠な社会体験活動の事例を中心に連携の進め方や課題を、第2分科会では自然保護、リサイクル、ゴミ問題など「環境問題」を切り口にした学校と地域の連携のあり方を、第3分科会では、高齢者や障害者理解等のための福祉体験学習を進める際の留意点や効果的な連携のあり方を、それぞれ事例を通し参加者を交えて情報交換しました。

この「教育フォーラム」は来年3月にも開催されます。



心の東京革命教育推進プラン

平成15年度「アドベンチャースクールin八丈島」事業を実施しました。

東京都教育委員会は、子どもの異年齢集団での体験活動をととして、自然や生命の大切さへの理解と人を敬う心やものを大切する心を養うことを目的に平成15年8月18日（月）から23日（土）まで「アドベンチャースクールin八丈島」を実施しました。参加者は都内の小中学生・青年、運営スタッフ等約120名。行きは船中で1泊し、八丈島ではテント3泊を含めて4泊しました。島では、社会体験の一環として、漁業・酪農・地熱を利用した温室栽培の農業体験、伝統芸能の伝承として八丈太鼓の体験などさまざまな体験をしました。グループで様々な体験をしながら、協力しあうことの大切さを学んだ5泊6日でした。

